2450MCTER(J)-v1.0.0

KIMOTO

MC リモートコントロールソフト
MCTerminal
取扱説明書

紀本電子工業株式会社

はじめに

MCTerminal は、当社製の測定器、データロガの画面を PC 上に表示するソフトウエアです。また、計測器でのタッチパネルの操作は PC ではマウスで行うことができます。測定器等と PC の間はイーサネットにより通信を行います。

本書では、イーサネット通信のための設定方法を簡単に記述しています。
通信ができない時などは、ネットワーク管理者、もしくはネットワーク接続に詳しい方にご相談ください。

目次

1. インストール手順

MCTerminal をインストールするために､インストーラである｢MCTerminal2.exe｣を起動してください。インストーラは弊社ホームページから無料でダウンロードできます（5.4 章参照)。

MCTerminal2.exe を起動するとウィザード画面が開きます。画面の表示に従って、インストール作業を行ってください。

インストール完了後は、MCTerminal が登録され、Windows の「スタート」ボタンから「すべてのプログラム」→「KIMOTO ユーティリティー」と選択していくと、「MCTerminal」を起動することが可能になっています。



2. ネットワーク接続の準備

弊社測定機器とPCのデータ通信はEtherNetを使用します。測定機器とPCをEtherNetケーブルで接続するだけで、簡単にデータを取得することが可能です。

通信に関する設定には管理者権限が必要な場合や、Windowsネットワークの知識が必要な場合があります。接続方法が不明な場合には、ネットワーク管理者、もしくはネットワーク接続に詳しい方にご相談ください。

2.1 PCの設定

MCTerminalでデータ通信を行なうために、PCのEthernet通信の設定を行う必要があります。2005年12月以降の弊社製品であれば、全ての機器でIPアドレスの自動割り当て機能（DHCPサーバ）がついていますので、PC側はIPアドレス自動取得をするように設定してください。それ以前の機器では、PCのIPアドレスとサブネットマスクを手動で指定する必要があります。

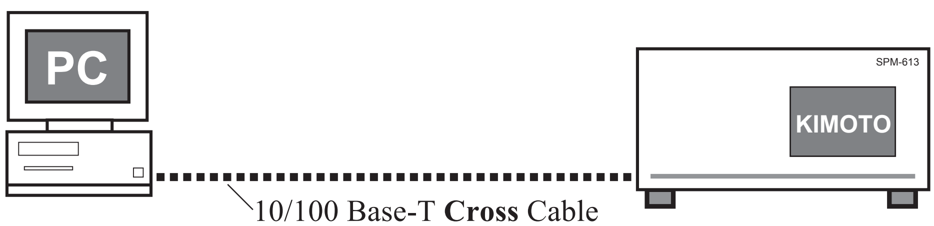
例）手動でIPアドレスとサブネットマスクを設定する場合の例
IPアドレス：192.168.0.10
サブネットマスク：255.255.255.0

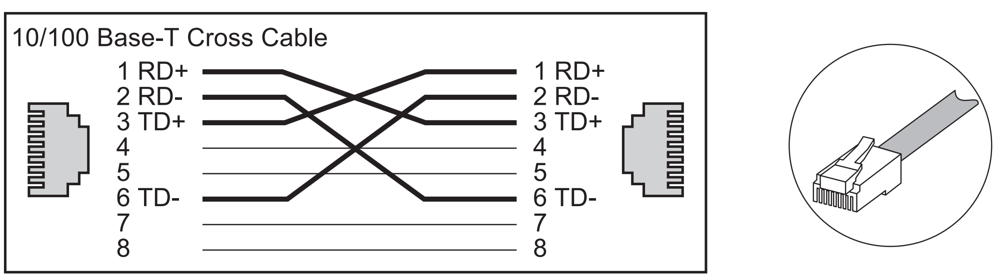
2.2 測定機器とPCの接続方法

接続方法としては、クロスケーブルを用いた1対1通信とHUBを経由した1対多通信が可能です。

2.2.1 クロスケーブルを使用した方法

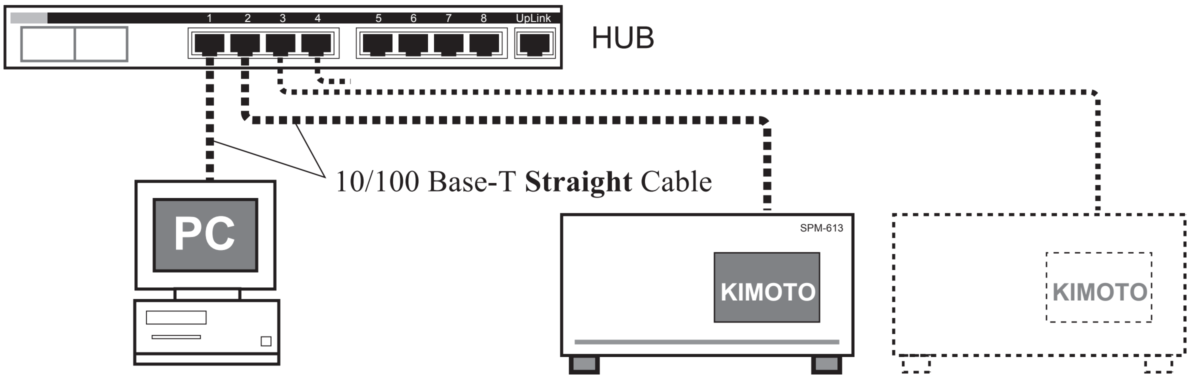
クロスケーブルを使用した接続方法です。PC側の仕様により、まれに通信できない場合がありますので、HUBを経由して接続することを推奨します。

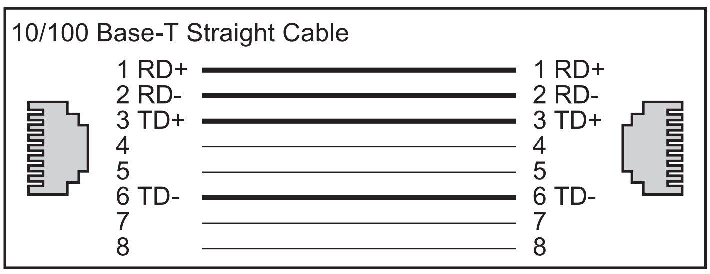




2.2.2 HUB を使用した方法

HUB を使用した接続方法です。この場合、ケーブルはストレートケーブルを使用してください。HUB を経由した接続の場合には、複数台の測定機器と同時通信が可能です。

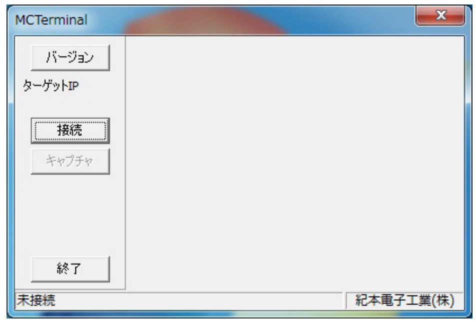




3. 操作方法

3.1　MCTerminal の起動

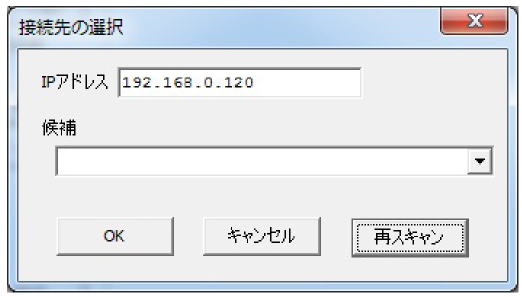
MCTerminal をスタートメニューから起動してください。



バージョンボタン　：ソフトウエアのバージョンを表示します
接続ボタン　：計測器に接続するためのダイヤログを表示します
キャプチャボタン　：計測等の画面を bmp 形式で保存します
終了ボタン　：ソフトウエアを終了します

3.2　計測器等への接続

①接続ボタンをクリックしてください
　接続先を選択するためのダイヤログが表示されます。
　IP アドレスは、手入力するほかに、プルダウンメニューをクリックすることで接続可能な計測器のリストを表示させることができます。表示された中から接続したい計測器を選択すると、自動的に入力できます。
②接続されている測定器の IP アドレスを入力して、[OK] をクリックしてください。※）



3.3　画面の操作

接続が完了すると、計測器等の画面が表示されます。表示された画面上をマウスでクリックすることで、計測器のタッチ操作をエミュレートできます。
MCTerminal で計測器を操作しているときは、計測器本体ではタッチ操作、画面の更新が行われません。



3.4　切断

終了ボタンを押してください。計測器等と切断されます。

※）OS が Windows7、Windows　Vista の場合、[OK] ボタンを押したときに、[Windows セキュリティの重要な警告画面] が表示されることがあります。
　全てにチェックをつけて、[アクセスを許可する] をクリックしてください。なお、アクセスを許可するには管理者権限が必要です。

4. 付録

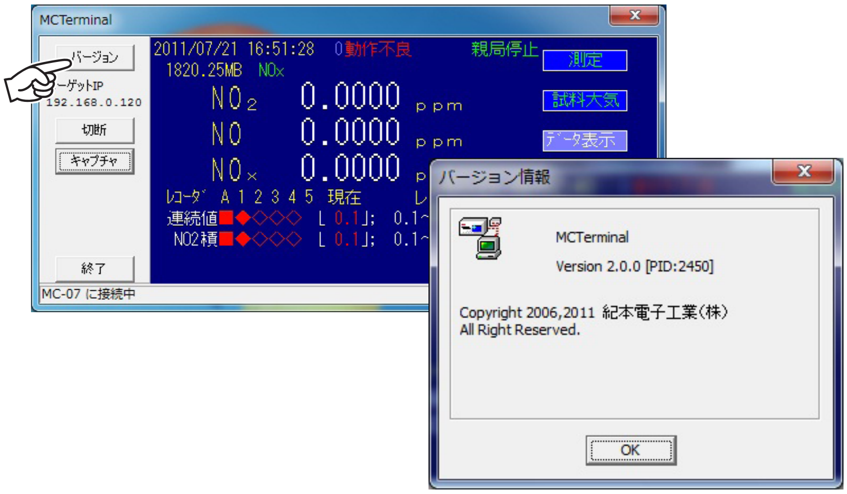
4.1 代表的な測定器のアドレス例

データ収録装置	192.168.0.110
窒素酸化物自動測定器	192.168.0.120
オゾン自動計測器	192.168.0.130
二酸化硫黄自動計測器	192.168.0.140
浮遊粒子状物質自動計測器	192.168.0.150

IP アドレスは必ず各測定器のバージョン情報、もしくは通信ポートの設定で確認してください。詳しくは各測定器の取扱説明書を参照してください。

4.2　MCTerminal のバージョン

MCTerminal のバージョンは、画面右上の [バージョン] ボタンを押すことで、確認できます。



4.3　MCTerminal の更新

MCTerminal の最新バージョンは、以下のアドレスからダウンロードすることができます。お使いのバージョンが最新のものであるか定期的にご確認ください。

http://www.kimoto-electric.co.jp/support/index.html

本マニュアルは以下のバージョンのソフトウエアの取り扱いについて説明したものです。

PID　2450　Ver　2.0.0　以降

人・社会・自然の関わりをはかる

KIMOTO 紀本電子工業株式会社

本社・工場 大阪市天王寺区舟橋町3-1 〒543-0024
TEL: 06-6768-3401
FAX: 06-6764-7040
URL: http://www.kimoto-electric.co.jp/
E-mail: sales@kimoto-electric.co.jp

東京営業所 東京都品川区南大井3-23-12 〒140-0013
TEL: 03-3761-8191
FAX: 03-3761-8294